

大項目	中項目	情報提供項目	回答				
製造管理及び品質管理・安定供給体制・リスクマネジメント	流通経路	流通経路	流通経路	全国の医薬品卸			
		・卸経由か、販社経由か、直販か	取引先	販売提携会社経由			
	納品体制	卸業者が納期を指定する場合に、当該指定納期に配送する体制の整備	定期的な配送の流通体制を確保。医薬品卸に在庫がない場合は、翌営業日に発送できるよう整備している。				
	適正在庫の確保	品切れ品目数	品切れ品目数（過去一年間）	0品目			
		平均社内在庫・流通在庫	社内在庫、流通在庫の合計	平均3ヶ月			
	注文先	注文先	流通経路に準ずる。				
	製造管理及び品質管理（GMP・GQP）体制	医薬品医療機器法の遵守状況① 自社又は第三者により、各品目に係る要求事項（承認事項等）の確認計画、実施率及び確認結果	2023年度 確認計画：10品目（全品目の100%） 確認結果：適合9品目、要改善1品目、不適合0品目 ※第三者により確認した品目数：0				
			2024年度 確認計画：10品目（全品目の100%） 確認結果：適合9品目、要改善1品目、不適合0品目 ※第三者により確認した品目数：0				
			2025年度 確認計画：10品目（全品目の100%） 確認結果：適合6品目、要改善4品目、不適合0品目 ※第三者により確認した品目数：0				
	製造管理及び品質管理（GMP・GQP）体制	医薬品医療機器法の遵守状況② 自社又は第三者による製造所（自社及び委託先）の確認計画、実施率及び確認結果	2023年度 確認計画：7製造所（全製造所の31.8%） 確認結果：軽微な指摘事項有り2製造所、重大な指摘事項有り0製造所 ※第三者により確認した製造所数：2				
2024年度 確認計画：7製造所（全製造所の31.8%） 確認結果：軽微な指摘事項有り5製造所、重大な指摘事項有り0製造所 ※第三者により確認した製造所数：0							
2025年度 確認計画：6製造所（全製造所の27.3%） 確認結果：軽微な指摘事項有り2製造所、重大な指摘事項有り0製造所 ※第三者により確認した製造所数：0							
製造管理及び品質管理（GMP・GQP）体制	医薬品医療機器法の遵守状況について、経営層（業事業務責任役員など）の確認日	2023年度 確認年月日：2024年3月18日					
		2024年度 確認年月日：2025年4月2日					
		2025年度 確認年月日：2026年4月6日					
安定供給体制の確保	「安定供給管理責任者」「安定供給責任者」を定め、安定供給マニュアルに基づき運用、自社又は第三者により点検を実施している。	2023年度 点検年月日：2024年3月28日 点検結果：他社品の影響による出荷調整品を除いては、安定供給に支障をきたすリスクは低い。 点検方法：自社					
		2024年度 点検年月日：2025年3月27日 点検結果：他社品の影響による出荷調整品を除いては、安定供給に支障をきたすリスクは低い。 点検方法：自社					
		2025年度 点検年月日：2026年4月10日 点検結果：他社品の影響による出荷調整品を除いては、安定供給に支障をきたすリスクは低い。 点検方法：自社					
安定供給に必要な生産体制の確保	医薬品、原料、資材の在庫管理の責任者及び担当の有無と把握状況	生産及び在庫等の管理責任者を定め、安定供給マニュアルに基づき運用している。					
	製造ラインのトラブルに対する回避対応マニュアルの有無と対応の内容	製造ラインのトラブルに対する対応を安定供給マニュアルに定め、適切に運用している。					
	限界在庫量、安定供給警戒レベルの設定の有無（特に、供給量の非常に多い医薬品、自社のシェアが高い医薬品）	安定供給リスクに応じて品目個別に安全在庫を設定している。					
	原薬製造所の管理体制	原薬製造所と品質取決めを締結するとともに、定期的に監査を実施し、製造管理及び品質管理に関する体制を確認している。					
品切れ発生時の対応	品切れが発生した場合の手順の設定の有無 ・医療現場への迷惑を最小限にする体制となっているか ・再発防止策につなげているか	安定供給マニュアルの手順書に基づき運用している。 品切れ発生時には、医療機関、取引先等に対して迅速な情報提供を行う体制を確保している。					
回収実績	回収実績（3年程度）		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
		クラスⅠ	0	0	0	0	
		クラスⅡ	0	0	0	0	
		クラスⅢ	0	0	0	0	
販売中止	販売中止の場合の情報提供	販売を中止する場合は、原則6ヶ月以上前に医療機関及び卸に連絡する。					
	販売開始後7年以内に製造中止した品目数（名称変更は含まない）	販売中止品目数（直近3年間）	0品目				

安定供給体制等に関する情報

情報 収集 ・ 提供 体制 等	医療機関等への 情報提供	自社や業界団体のホームページへの掲載を含め、 資料請求への迅速な対応体制の確保 ・DI情報 ・電子添文 ・インタビューフォーム ・生物学的同等性試験、溶出試験データ ・安定性試験データ ・配合変化試験データ ・副作用データ ・患者用指導せん ・緊急安全性情報 ・「使用上の注意」改訂のお知らせ /等	自社ホームページに掲載の他、販売提携会社のMRの訪問による情報提供体制を確保している。		
	学術部門	学術部門の連絡先	営業部 学術情報課 06-6470-2102		
		MRの訪問体制	販売提携会社MRによる訪問体制を確保している。	MR数：412名（2026年4月1日現在）	
	安全性部門	安全性情報に係る緊急連絡体制	販売提携会社MR、自社営業部門（06-6470-2102）が対応している。		
		安全管理部門の体制	信頼性保証部医薬安全管理グループ 1名（2026年4月1日現在）		
	供給等に関する 情報提供	医薬品目毎の採用実績に関する情報提供	販売提携会社MRより個別に回答可能。		
	普及啓発活動	医療関係者に対するMR/学術部門等による説明会の実施状況（業界団体としての活動も含む）	販売提携会社MR、自社営業課及び学術情報課による説明会を実施している。		
		患者・国民向けの普及啓発活動の実施状況（業界団体としての活動も含む）	なし		
都道府県協議会 への参画	都道府県協議会への活動に参加の有無（業界団体としての活動も含む）	兵庫県製薬協会、日本製薬団体連合会、関西医薬品協会、局方薬品協議会に加盟し、活動している。			
企業情報	株式上場	なし			
	業務停止等の重大な行政処分の有無（5年以内）	なし			

大項目	中項目	情報提供項目	回答				
製造管理及び品質管理・安定供給体制・リスクマネジメント	流通経路	流通経路	流通経路	全国の医薬品卸			
		・卸経由か、販社経由か、直販か	取引先	販売提携会社経由			
	納品体制	卸業者が納期を指定する場合に、当該指定納期に配送する体制の整備	定期的な配送の流通体制を確保。医薬品卸に在庫がない場合は、翌営業日に発送できるよう整備している。				
	適正在庫の確保	品切れ品目数	品切れ品目数（過去一年間）	0品目			
		平均社内在庫・流通在庫	社内在庫、流通在庫の合計	平均3ヶ月			
	注文先	注文先	流通経路に準ずる。				
	製造管理及び品質管理（GMP・GQP）体制	医薬品医療機器法の遵守状況① 自社又は第三者により、各品目に係る要求事項（承認事項等）の確認計画、実施率及び確認結果	2022年度 確認計画：10品目（全品目の100%） 確認結果：適合10品目、要改善0品目、不適合0品目 ※第三者により確認した品目数：0				
			2023年度 確認計画：10品目（全品目の100%） 確認結果：適合9品目、要改善1品目、不適合0品目 ※第三者により確認した品目数：0				
			2024年度 確認計画：10品目（全品目の100%） 確認結果：適合9品目、要改善1品目、不適合0品目 ※第三者により確認した品目数：0				
	製造管理及び品質管理（GMP・GQP）体制	医薬品医療機器法の遵守状況② 自社又は第三者による製造所（自社及び委託先）の確認計画、実施率及び確認結果	2022年度 確認計画：7製造所（全製造所の31.8%） 確認結果：軽微な指摘事項有り4製造所、重大な指摘事項有り0製造所 ※第三者により確認した製造所数：0				
			2023年度 確認計画：7製造所（全製造所の31.8%） 確認結果：軽微な指摘事項有り2製造所、重大な指摘事項有り0製造所 ※第三者により確認した製造所数：2				
			2024年度 確認計画：7製造所（全製造所の31.8%） 確認結果：軽微な指摘事項有り5製造所、重大な指摘事項有り0製造所 ※第三者により確認した製造所数：0				
	製造管理及び品質管理（GMP・GQP）体制	医薬品医療機器法の遵守状況について、経営層（薬事業務責任役員など）の確認日	2022年度 確認年月日：2023年3月24日				
			2023年度 確認年月日：2024年3月18日				
			2024年度 確認年月日：2025年4月2日				
安定供給体制の確保	「安定供給管理責任者」「安定供給責任者」を定め、安定供給マニュアルに基づき運用、自社又は第3者により点検を実施している。	2022年度 点検年月日：2023年3月29日 点検結果：他社品の影響による出荷調整品を除いては、安定供給に支障をきたすリスクは低い。 点検方法：自社					
安定供給に必要な生産体制の確保	医薬品、原料、資材の在庫管理の責任者及び担当者の有無と把握状況	生産及び在庫等の管理責任者を定め、安定供給マニュアルに基づき運用している。					
	製造ラインのトラブルに対する回避対応マニュアルの有無と対応の内容	製造ラインのトラブルに対する対応を安定供給マニュアルに定め、適切に運用している。					
	限界在庫量、安定供給警戒レベルの設定の有無（特に、供給量の非常に多い医薬品、自社のシェアが高い医薬品）	安定供給リスクに応じて品目個別に安全在庫を設定している。					
	原薬製造所の管理体制	原薬製造所と品質取決めを締結するとともに、定期的に監査を実施し、製造管理及び品質管理に関する体制を確認している。					
品切れ発生時の対応	品切れが発生した場合の手順の設定の有無 ・医療現場への迷惑を最小限にする体制となっているか ・再発防止策につなげているか	安定供給マニュアルの手順書に基づき運用している。 品切れ発生時には、医療機関、取引先等に対して迅速な情報提供を行う体制を確保している。					
回収実績	回収実績（3年程度）		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
		クラスⅠ	0	0	0	0	
		クラスⅡ	0	0	0	0	
		クラスⅢ	0	0	0	0	
販売中止	販売中止の場合の情報提供	販売を中止する場合は、原則6ヶ月以上前に医療機関及び卸に連絡する。					
	販売開始後7年以内に製造中止した品目数（名称変更は含まない）	販売中止品目数（直近3年間）	0品目				

安定供給体制等に関する情報

情報 収集 ・ 提供 体制 等	医療機関等への 情報提供	自社や業界団体のホームページへの掲載を含め、 資料請求への迅速な対応体制の確保 ・DI情報 ・電子添文 ・インタビューフォーム ・生物学的同等性試験、溶出試験データ ・安定性試験データ ・配合変化試験データ ・副作用データ ・患者用指導せん ・緊急安全性情報 ・「使用上の注意」改訂のお知らせ / 等	自社ホームページに掲載の他、販売提携会社のMRの訪問による情報提供体制を確保している。		
	学術部門	学術部門の連絡先	営業部 学術情報課 06-6470-2102		
		MRの訪問体制	販売提携会社MRによる訪問体制を確保している。	MR数：477名（2025年4月1日現在）	
	安全性部門	安全性情報に係る緊急連絡体制	販売提携会社MR、自社営業部門（06-6470-2102）が対応している。		
		安全管理部門の体制	信頼性保証部安全管理統括部門 2名（2025年4月1日現在）		
	供給等に関する 情報提供	医薬品目毎の採用実績に関する情報提供	販売提携会社MRより個別に回答可能。		
	普及啓発活動	医療関係者に対するMR/学術部門等による説明会の実施状況（業界団体としての活動も含む）	販売提携会社MR、自社営業課及び学術情報課による説明会を実施している。		
		患者・国民向けの普及啓発活動の実施状況（業界団体としての活動も含む）	なし		
都道府県協議会 への参画	都道府県協議会への活動に参加の有無（業界団体としての活動も含む）	兵庫県製薬協会、日本製薬団体連合会、関西医薬品協会に加盟し、活動している。			
企業情報	株式上場	なし			
	業務停止等の重大な行政処分の有無（5年以内）	なし			

大項目	中項目	情報提供項目	回答			
			流通経路	取引先		
製造管理及び品質管理・安定供給体制・リスクマネジメント	流通経路	流通経路 ・卸経由か、販社経由か、直販か	流通経路	全国の医薬品卸		
			取引先	販売提携会社経由		
	納品体制	卸業者が納期を指定する場合に、当該指定納期に配送する体制の整備	定期的な配送の流通体制を確保。医薬品卸に在庫がない場合は、翌営業日に発送できるよう整備している。			
	適正在庫の確保	品切れ品目数	品切れ品目数（過去一年間）	0品目		
		平均社内在庫・流通在庫	社内在庫、流通在庫の合計	平均3ヶ月		
	注文先	注文先	流通経路に準ずる。			
	製造管理及び品質管理（GMP・GQP）体制	医薬品医療機器法の遵守状況① 自社又は第三者により、各品目に係る要求事項（承認事項等）の確認計画、実施率及び確認結果	2022年度 確認計画：10品目（全品目の100%） 確認結果：適合10品目、要改善0品目、不適合0品目 ※第三者により確認した品目数：0 2023年度 確認計画：10品目（全品目の100%） 確認結果：適合9品目、要改善1品目、不適合0品目 ※第三者により確認した品目数：0 2024年度 確認計画：10品目（全品目の100%） 確認結果：適合9品目、要改善1品目、不適合0品目 ※第三者により確認した品目数：0			
		医薬品医療機器法の遵守状況② 自社又は第三者による製造所（自社及び委託先）の確認計画、実施率及び確認結果	2022年度 確認計画：7製造所（全製造所の31.8%） 確認結果：軽微な指摘事項有り4製造所、重大な指摘事項有り0製造所 ※第三者により確認した製造所数：0 2023年度 確認計画：7製造所（全製造所の31.8%） 確認結果：軽微な指摘事項有り2製造所、重大な指摘事項有り0製造所 ※第三者により確認した製造所数：2 2024年度 確認計画：7製造所（全製造所の31.8%） 確認結果：軽微な指摘事項有り5製造所、重大な指摘事項有り0製造所 ※第三者により確認した製造所数：0			
		医薬品医療機器法の遵守状況について、経営層（薬事業務責任役員など）の確認日	2022年度 確認年月日：2023年3月24日 2023年度 確認年月日：2024年3月18日 2024年度 確認年月日：2025年4月2日			
	安定供給体制の確保	「安定供給管理責任者」「安定供給責任者」を定め、安定供給マニュアルに基づき運用、自社又は第三者により点検を実施している。	2022年度 点検年月日：2023年3月29日 点検結果：他社品の影響による出荷調整品を除いては、安定供給に支障をきたすリスクは低い。 点検方法：自社 2023年度 点検年月日：2024年3月28日 点検結果：他社品の影響による出荷調整品を除いては、安定供給に支障をきたすリスクは低い。 点検方法：自社 2024年度 点検年月日：2025年3月27日 点検結果：他社品の影響による出荷調整品を除いては、安定供給に支障をきたすリスクは低い。 点検方法：自社			
	安定供給に必要な生産体制の確保	医薬品、原料、資材の在庫管理の責任者及び担当者の有無と把握状況	生産及び在庫等の管理責任者を定め、安定供給マニュアルに基づき運用している。			
		製造ラインのトラブルに対する回避対応マニュアルの有無と対応の内容	製造ラインのトラブルに対する対応を安定供給マニュアルに定め、適切に運用している。			
		限界在庫量、安定供給警戒レベルの設定の有無（特に、供給量の非常に多い医薬品、自社のシェアが高い医薬品）	安定供給リスクに応じて品目個別に安全在庫を設定している。			
		原薬製造所の管理体制	原薬製造所と品質取決めを締結するとともに、定期的に監査を実施し、製造管理及び品質管理に関する体制を確認している。			
	品切れ発生時の対応	品切れが発生した場合の手順の設定の有無 ・医療現場への迷惑を最小限にする体制となっているか ・再発防止策につなげているか	安定供給マニュアルの手順書に基づき運用している。 品切れ発生時には、医療機関、取引先等に対して迅速な情報提供を行う体制を確保している。			
回収実績	回収実績（3年程度）	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
		クラスⅠ	0	0	0	0
		クラスⅡ	0	0	0	0
		クラスⅢ	0	0	0	0
販売中止	販売中止の場合の情報提供	販売を中止する場合は、原則6ヶ月以上前に医療機関及び卸に連絡する。				
	販売開始後7年以内に製造中止した品目数（名称変更は含まない）	販売中止品目数（直近3年間）	0品目			

情報 収集 ・ 提供 体制 等	医療機関等への 情報提供	自社や業界団体のホームページへの掲載を含め、 資料請求への迅速な対応体制の確保 ・DI情報 ・電子添文 ・インタビューフォーム ・生物学的同等性試験、溶出試験データ ・安定性試験データ ・配合変化試験データ ・副作用データ ・患者用指導せん ・緊急安全性情報 ・「使用上の注意」改訂のお知らせ /等	自社ホームページに掲載の他、販売提携会社のMRの訪問による情報提供体制を確保している。		
	学術部門	学術部門の連絡先	営業部 学術情報課 06-6470-2102		
		MRの訪問体制	販売提携会社MRによる訪問体制を確保している。	MR数：477名（2025年4月1日現在）	
	安全性部門	安全性情報に係る緊急連絡体制	販売提携会社MR、自社営業部門（06-6470-2102）が対応している。		
		安全管理部門の体制	信頼性保証部安全管理統括部門 2名（2025年4月1日現在）		
	供給等に関する 情報提供	医薬品目毎の採用実績に関する情報提供	販売提携会社MRより個別に回答可能。		
	普及啓発活動	医療関係者に対するMR/学術部門等による説明会の実施状況（業界団体としての活動も含む）	販売提携会社MR、自社営業課及び学術情報課による説明会を実施している。		
患者・国民向けの普及啓発活動の実施状況（業界団体としての活動も含む）		なし			
都道府県協議会 への参画	都道府県協議会への活動に参加の有無（業界団体としての活動も含む）	兵庫県製薬協会、日本製薬団体連合会、関西医薬品協会に加盟し、活動している。			
企業情報	株式上場	なし			
	業務停止等の重大な行政処分の有無（5年以内）	なし			

大項目	中項目	情報提供項目	回答			
製造管理及び品質管理・安定供給体制・リスクマネジメント	流通経路	流通経路	流通経路	全国の医薬品卸		
		卸経由か、販社経由か、直販か	取引先	販売提携会社経由		
	納品体制	卸業者が納期を指定する場合に、当該指定納期に配送する体制の整備	定期的な配送の流通体制を確保。医薬品卸に在庫がない場合は、翌営業日に発送できるよう整備している。			
	適正在庫の確保	品切れ品目数	品切れ品目数（過去一年間）	0品目		
		平均社内在庫・流通在庫	社内在庫、流通在庫の合計	平均3ヶ月		
	注文先	注文先	流通経路に準ずる。			
	製造管理及び品質管理（GMP・GQP）体制	医薬品医療機器法の遵守状況① 自社又は第三者により、各品目に係る要求事項（承認事項等）の確認計画、実施率及び確認結果	2021年度 確認計画：10品目（全品目の100%） 確認結果：適合9品目、要改善1品目、不適合0品目 ※第三者により確認した品目数：0			
			2022年度 確認計画：10品目（全品目の100%） 確認結果：適合10品目、要改善0品目、不適合0品目 ※第三者により確認した品目数：0			
			2023年度 確認計画：10品目（全品目の100%） 確認結果：適合9品目、要改善1品目、不適合0品目 ※第三者により確認した品目数：0			
	医薬品医療機器法の遵守状況② 自社又は第三者による製造所（自社及び委託先）の確認計画、実施率及び確認結果	2021年度 確認計画：7製造所（全製造所の31.8%） 確認結果：軽微な指摘事項有り0製造所、重大な指摘事項有り0製造所 ※第三者により確認した製造所数：1				
		2022年度 確認計画：7製造所（全製造所の31.8%） 確認結果：軽微な指摘事項有り4製造所、重大な指摘事項有り0製造所 ※第三者により確認した製造所数：0				
		2023年度 確認計画：7製造所（全製造所の31.8%） 確認結果：軽微な指摘事項有り2製造所、重大な指摘事項有り0製造所 ※第三者により確認した製造所数：2				
	医薬品医療機器法の遵守状況について、経営層（薬事業務責任役員など）の確認日	2021年度 確認年月日：2022年3月30日				
		2022年度 確認年月日：2023年3月24日				
2023年度 確認年月日：2024年3月18日						
安定供給体制の確保	「安定供給管理責任者」「安定供給責任者」を定め、安定供給マニュアルに基づき運用、自社又は第三者により点検を実施している。	2022年度 点検年月日：2023年3月29日 点検結果：他社品の影響による出荷調整品を除いては、安定供給に支障をきたすリスクは低い。 点検方法：自社				
		2023年度 点検年月日：2024年3月28日 点検結果：他社品の影響による出荷調整品を除いては、安定供給に支障をきたすリスクは低い。 点検方法：自社				
		2024年度 点検年月日：2024年度後半実施予定				
安定供給に必要な生産体制の確保	医薬品、原料、資材の在庫管理の責任者及び担当者の有無と把握状況	生産及び在庫等の管理責任者を定め、安定供給マニュアルに基づき運用している。				
	製造ラインのトラブルに対する回避対応マニュアルの有無と対応の内容	製造ラインのトラブルに対する対応を安定供給マニュアルに定め、適切に運用している。				
	限界在庫量、安定供給警戒レベルの設定の有無（特に、供給量の非常に多い医薬品、自社のシェアが高い医薬品）	安定供給リスクに応じて品目個別に安全在庫を設定している。				
	原薬製造所の管理体制	原薬製造所と品質取決めを締結するとともに、定期的に監査を実施し、製造管理及び品質管理に関する体制を確認している。				
品切れ発生時の対応	品切れが発生した場合の手順の設定の有無 ・医療現場への迷惑を最小限にする体制となっているか ・再発防止策につなげているか	安定供給マニュアルの手順書に基づき運用している。 品切れ発生時には、医療機関、取引先等に対して迅速な情報提供を行う体制を確保している。				
回収実績	回収実績（3年程度）		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		クラスⅠ	0	0	0	0
		クラスⅡ	1	0	0	0
		クラスⅢ	0	0	0	0
販売中止	販売中止の場合の情報提供	販売を中止する場合は、原則6ヶ月以上前に医療機関及び卸に連絡する。				
	販売開始後7年以内に製造中止した品目数（名称変更は含まない）	販売中止品目数（直近3年間）	0品目			

情報 収集 ・ 提供 体制 等	医療機関等への 情報提供	自社や業界団体のホームページへの掲載を含め、 資料請求への迅速な対応体制の確保 ・DI情報 ・電子添文 ・インタビューフォーム ・生物学的同等性試験、溶出試験データ ・安定性試験データ ・配合変化試験データ ・副作用データ ・患者用指導せん ・緊急安全性情報 ・「使用上の注意」改訂のお知らせ /等	自社ホームページに掲載の他、販売提携会社のMRの訪問による情報提供体制を確保している。		
	学術部門	学術部門の連絡先	営業部 学術情報課 06-6470-2102		
		MRの訪問体制	販売提携会社MRによる訪問体制を確保している。	MR数：462名（2024年10月1日現在）	
	安全性部門	安全性情報に係る緊急連絡体制	販売提携会社MR、自社営業部門（06-6470-2102）が対応している。		
		安全管理部門の体制	信頼性保証部安全管理統括部門 3名（2024年10月1日現在）		
	供給等に関する 情報提供	医薬品目毎の採用実績に関する情報提供	販売提携会社MRより個別に回答可能。		
	普及啓発活動	医療関係者に対するMR/学術部門等による説明会の実施状況（業界団体としての活動も含む）	販売提携会社MR、自社営業課及び学術情報課による説明会を実施している。		
		患者・国民向けの普及啓発活動の実施状況（業界団体としての活動も含む）	なし		
都道府県協議会 への参画	都道府県協議会への活動に参加の有無（業界団体としての活動も含む）	兵庫県製薬協会、日本製薬団体連合会、関西医薬品協会に加盟し、活動している。			
企業情報	株式上場	なし			
	業務停止等の重大な行政処分の有無（5年以内）	なし			

大項目	中項目	情報提供項目	回答			
			流通経路		取引先	
製造管理及び品質管理・安定供給体制・リスクマネジメント	流通経路	流通経路 ・卸経由か、販社経由か、直販か	流通経路		全国の医薬品卸	
			取引先		販売提携会社経由	
	納品体制	卸業者が納期を指定する場合に、当該指定納期に配送する体制の整備	定期的な配送の流通体制を確保。医薬品卸に在庫がない場合は、翌営業日に発送できるよう整備している。			
	適正在庫の確保	品切れ品目数	品切れ品目数（過去一年間）	0品目		
		平均社内在庫・流通在庫	社内在庫、流通在庫の合計	平均3ヶ月		
	注文先	注文先	流通経路に準ずる。			
	製造管理及び品質管理（GMP・GQP）体制	医薬品医療機器法の遵守状況① 自社又は第三者により、各品目に係る要求事項（承認事項等）の確認計画、実施率及び確認結果	2020年度 確認計画：8品目（全品目の100%） 確認結果：適合8品目、要改善0品目、不適合0品目 ※第三者により確認した品目数：0			
			2021年度 確認計画：10品目（全品目の100%） 確認結果：適合9品目、要改善1品目、不適合0品目 ※第三者により確認した品目数：0			
			2022年度 確認計画：10品目（全品目の100%） 確認結果：適合10品目、要改善0品目、不適合0品目 ※第三者により確認した品目数：0			
	医薬品医療機器法の遵守状況② 自社又は第三者による製造所（自社及び委託先）の確認計画、実施率及び確認結果	2020年度 確認計画：5製造所（全製造所の31.3%） 確認結果：軽微な指摘事項有り2製造所、重大な指摘事項有り0製造所 ※第三者により確認した製造所数：0				
		2021年度 確認計画：7製造所（全製造所の31.8%） 確認結果：軽微な指摘事項有り0製造所、重大な指摘事項有り0製造所 ※第三者により確認した製造所数：1				
		2022年度 確認計画：7製造所（全製造所の31.8%） 確認結果：軽微な指摘事項有り4製造所、重大な指摘事項有り0製造所 ※第三者により確認した製造所数：0				
医薬品医療機器法の遵守状況について、経営層（薬事業務責任役員など）の確認日	2020年度 確認年月日：2021年3月30日 2021年度 確認年月日：2022年3月30日 2022年度 確認年月日：2023年3月24日					
安定供給体制の確保	「安定供給管理責任者」「安定供給責任者」を定め、安定供給マニュアルに基づき運用、自社又は第三者により点検を実施している。	2021年度：－  2022年度 点検年月日：2023年3月29日 点検結果：他社品の影響による出荷調整品を除いては、安定供給に支障をきたすリスクは低い。 点検方法：自社  2023年度 点検年月日：2024年3月28日 点検結果：他社品の影響による出荷調整品を除いては、安定供給に支障をきたすリスクは低い。 点検方法：自社				
安定供給に必要な生産体制の確保	医薬品、原料、資材の在庫管理の責任者及び担当の有無と把握状況	生産及び在庫等の管理責任者を定め、安定供給マニュアルに基づき運用している。				
	製造ラインのトラブルに対する回避対応マニュアルの有無と対応の内容	製造ラインのトラブルに対する対応を安定供給マニュアルに定め、適切に運用している。				
	限界在庫量、安定供給警戒レベルの設定の有無（特に、供給量の非常に多い医薬品、自社のシェアが高い医薬品）	安定供給リスクに応じて品目個別に安全在庫を設定している。				
	原薬製造所の管理体制	原薬製造所と品質取決めを締結するとともに、定期的に監査を実施し、製造管理及び品質管理に関する体制を確認している。				
品切れ発生時の対応	品切れが発生した場合の手順の設定の有無 ・医療現場への迷惑を最小限にする体制となっているか ・再発防止策につなげているか	安定供給マニュアルの手順書に基づき運用している。 品切れ発生時には、医療機関、取引先等に対して迅速な情報提供を行う体制を確保している。				
回収実績	回収実績（3年程度）		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		クラスⅠ	0	0	0	0
		クラスⅡ	1	0	0	0
		クラスⅢ	0	0	0	0
販売中止	販売中止の場合の情報提供	販売を中止する場合は、原則6ヶ月以上前に医療機関及び卸に連絡する。				
	販売開始後7年以内に製造中止した品目数（名称変更は含まない）	販売中止品目数（直近3年間）	0品目			

安定供給体制等に関する情報

情報 収集 ・ 提供 体制 等	医療機関等への 情報提供	自社や業界団体のホームページへの掲載を含め、 資料請求への迅速な対応体制の確保 ・DI情報 ・電子添文 ・インタビューフォーム ・生物学的同等性試験、溶出試験データ ・安定性試験データ ・配合変化試験データ ・副作用データ ・患者用指導せん ・緊急安全性情報 ・「使用上の注意」改訂のお知らせ /等	自社ホームページに掲載の他、販売提携会社のMRの訪問による情報提供体制を確保している。		
	学術部門	学術部門の連絡先	営業部 学術情報課 06-6470-2102		
		MRの訪問体制	販売提携会社MRによる訪問体制を確保している。	MR数：484名（2023年4月1日現在）	
	安全性部門	安全性情報に係る緊急連絡体制	販売提携会社MR、自社営業部門（06-6470-2102）が対応している。		
		安全管理部門の体制	信頼性保証部安全管理統括部門 2名（2023年4月1日現在）		
	供給等に関する 情報提供	医薬品目毎の採用実績に関する情報提供	販売提携会社MRより個別に回答可能。		
	普及啓発活動	医療関係者に対するMR/学術部門等による説明会の実施状況（業界団体としての活動も含む）	販売提携会社MR、自社営業課及び学術情報課による説明会を実施している。		
		患者・国民向けの普及啓発活動の実施状況（業界団体としての活動も含む）	なし		
都道府県協議会 への参画	都道府県協議会への活動に参加の有無（業界団体としての活動も含む）	兵庫県製薬協会、日本製薬団体連合会、関西医薬品協会に加盟し、活動している。			
企業情報	株式上場	なし			
	業務停止等の重大な行政処分の有無（5年以内）	なし			